

令和3年度 第12回高島町新庁舎建設検討委員会 会議録

【日時】 令和4年3月29日（火） 15時28分～16時42分

【場所】 高島町役場3階 第1委員会室

【出席者】（委員）宮原博通委員、白石信也委員、斎藤洋子委員、後藤昭委員、我妻里奈委員、
西方茂太委員、平崇委員、増田陽子委員、（欠席 渋谷保委員）
（町）企画財政課長、企画財政課長補佐、新庁舎建設推進室長、新庁舎建設推進室技師補、
公共事業整備専門員
（久米設計） 管理技術者、担当技術者3名

【傍聴者】 なし

【会議録】

1. 開会 15時28分

司会（事務局）による開会

2年間に渡り、皆さまからご意見ご指導いただいた委員会も今回が最後となります。

2. 委員長あいさつ

皆さんこんにちは。本日もご多用の中、お集まりいただきありがとうございます。大変お疲れさまです。今年の冬は大変雪が多く、また風の強い日が続いたり大変な冬でありましたが、このところ春の兆しが見えて、梅のつぼみもだいぶ膨らんできている。

そんな中で司会からもあったように今日が最後の検討委員会ということであり、2年間この検討委員会もさることながら、町のワーキングチームも検討に向けて大変なエネルギーを掛けられた。そのようなことから、この計画が実りあるものになっていくだろうと、また一方、土地利用計画が変更になる中で、久米設計さんには大変なご努力をいただいて、新しい設計条件としての土地の区画に上手く合わせていただき、技術的な検討を深めていただいたことに感謝申し上げます。

これから新庁舎が出来ていくことについて、町のシンボルになり従来の庁舎ということでは無しに、町の方々の誇りとなる建物になっていくだろうと、そのように思うところである。本日も皆さまから忌憚のない意見をお願いしたい。

3. 報告事項

・3/9 新庁舎建設推進会議

別紙庁内検討プロジェクトチーム検討結果報告 資料No.1

（事務局）

新庁舎建設推進会議においてプロジェクトチーム検討結果の報告

報告事項に対しての質疑

（委員）

新庁舎へのネットワークシステムについて、情報関係は日々進歩していて、いつの段階で契約するかで大分違ってくと思う。先日もニュースに出ていたが総務省で5Gの前倒しで情報ネットワークの構築をするというような話もあるので、是非、新築する機会を得て総務省やデジタル庁に話をもちかけて、補助

金とか確保できるような働きかけをしてみてもどうかと思う。

(事務局)

補助金もそうであるが、令和7年までに役所関係の情報ネットワークの整備に動きがあるようである。また、令和4年度からは総務課にデジタル推進室という部署が設けられる。そちらと連携して新しい庁舎に向けてのシステム導入を検討していきたい。補助金の有無も調べて有れば活用していきたい。

(事務局)

委員がおっしゃることはもっともである。最新のものを入れていきたいと思っているのだが、どうしても予算の関係もあるので有利な財源を確保してやっていきたい。横浜市の話でもあったように、全てWi-Fiでしていた。久米設計さんとも話をしているが、大分費用も高くなる。出来る限り長く使えて最新のもの、費用も掛からないものと考えている。出来る限り良いものを入れていきたい。

(委員長)

一点確認したい。文書管理について、フォルダー管理に変更するという事は、これからの時代も含めてペーパーレスを考えていくことと、やむを得ず書類として閲覧とかもあると思うが、色々な意味でペーパーレスになっていくだろうと思っている。今までのプランを見ても随分書庫のスペースを取っているわけだが、こういったシステムとも連動する話なので、庁内でもペーパーレスの検討はされたのか。

(事務局)

ワーキンググループでも電子化も含めてペーパーレス化、文書の削減について話し合いを行った。

前回の検討委員会でも話が合ったように、新庁舎への引っ越しは文書が多くなる。近隣市町でも文書量を削減して引っ越しをしている。ドッチファイル等保管していると無駄な隙間があってかさ張るが、新しいシステムは専用のファイルに挟み込んで余計な物は捨てる。課内で1つを共有して管理するシステムに変えようとしている。総務課と企画財政課で試験的に実施しているが、新庁舎開庁まで全庁で進める予定。すぐに電子化は無理だが、将来的には実施していきたい。しかし、紙ベースも必要なので最小限に留めるような形で変更した。

(事務局)

(※実際のファイルをお見せしながら) こういった形になって、文書量は大幅減る。私の書類だけで6割は減った。尚且つ、会議の資料は事務局5人全員が同じものを持っている。こういったものが一元管理になり、ここだけでも1/5になる。同じ棚に誰でも見られるように綴りこんでおく。6割減って更に1/5になることを考えれば相当数減ることになる。そういった管理をしようとしている。

あと、前の質問でネットワーク関係があったが、電子決済も同時に進めなくてはならないと思っている。来年度、当町もデジタル推進室という特別組織を設ける。新庁舎建設推進室と同じで、室に格上げをして重点的に取り組む。尚且つ、民間から派遣をもらい月2回程度指導をいただくことになる。また、社会人枠でICT技術者を採用する。期待していただければと思う。

(委員長)

ありがとうございました。

(全委員)

特になし。

4. 議事

(1) 基本設計概要について

(委員長)

基本設計概要について説明をお願いします。

(事務局)

A 3配布資料を用いて、久米設計さんより説明をしていただく。

(久米設計)

基本設計説明書概要版について、時間も限られているので、全部を説明すると時間を要するため、表紙右下の1番から7番までを重点的に説明させてもらい、8番以降は割愛させていただくのでよろしくお願ひしたい。

1 ページ目、計画概要を説明します。

「まほろばの原風景」に調和する庁舎 ～町民が集い、協働し、交流するみんなの庁舎づくり～ です。南側正面から見た外観パースになる。

基本理念／基本方針になります。こちらは基本計画で策定されたものです。

基本理念「町民に寄り添った環境にやさしい、安全・安心な庁舎」になり、以下、5つの方針になる。

【基本方針1】 防災拠点として安全・安心な庁舎

【基本方針2】 町民にやさしく誰もが利用しやすい庁舎

【基本方針3】 将来を見越した効率的で経済的な庁舎

【基本方針4】 地球環境にやさしい庁舎

【基本方針5】 温かみがあり町民に親しまれる庁舎

こちらの基本理念／基本方針を継承して、以下の5つの設計方針を定めた。

1. 災害に強い防災庁舎

耐震性・防火性の確保や水害対策により災害時に機能継続し、迅速な防災連携が可能な庁舎とします。

2. 誰もが安心して利用できるバリアフリー庁舎

見通しが良く、段差のない、すべての方々にとって優しく使いやすい庁舎とします。

3. 業務効率と町民サービス向上を促す庁舎

ユニバーサルレイアウトの執務室や、町民窓口をワンフロアに集約した利便性の高い庁舎とします。

4. 高島の自然の恵みを生かした省エネ庁舎

気候風土を活かしたパッシブデザインにより、ZEB Ready を達成し一次エネルギー消費量を50%削減する庁舎とします。

5. 地場産材を活用した愛着のある庁舎

高島産杉板をはじめとする地場産材を活かした意匠により、温かみを感じる庁舎とします。

こちらの5つの方針を基に設計を進めていきます。

建築の概要です。

規模は、地上3階／塔屋1階

構造は、鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造

延床面積は、庁舎で5,414㎡、付属棟とキャノピーを合わせると5,759㎡となっています。

続いて2ページ、配置計画です。

①冬季の季節風に配慮したエントランス計画

冬季の西風に配慮したどもホールを突出させた車寄せ計画とした。また、キャノピーを設け庁舎の庇と連結することで、冬期の利用者の利便性・安全性を向上します。

②敷地の有効活用を図る配置計画

建物をコンパクトな正形とし、敷地の有効活用を図る。南側には広場をどもホールの前に設けることで、にぎわい空間を創出します。

動線計画です。庁舎への車でのアクセスは、南側前面道路と敷地内の南北貫通通路からのアクセスとなります。

出入口については、4箇所設定している。南側の主出入口、北西の職員・時間外出入口、西側と北東側の出入口の計4箇所になります。

駐車場については、庁舎付近に来庁者用駐車場、既存庁舎と中央公民館解体跡地には、職員駐車場を整備します。駐輪場・バイクは、付属棟に計画します。

3ページをお願いします。平面計画になります。1階と2階の平面図になります。

全体としては、1階に町民窓口、2階に執務室、執行部エリア、3階を議場とした明快な階層構成としています。建物の中央部分に執務室を計画しています。周りに諸室を配置することで採光は確保するが、直接的なペリメーターゾーンを作らない空調負荷を低減する平面計画とします。西側にはエレベーター、階段の動線、トイレ、機械室をまとめて分かりやすいコア計画とします。また、1階待合上部には吹き抜け階段を設けて、視認性の高い計画とします。

1階の平面計画です。1階は南側にどもホール、研修室がある公民館機能、北側に町民窓口機能を明確に分けることで、土日祝日の公民館利用に配慮します。執務室は38m×13mのオープンフロアで見通しの良い空間となっています。また、前回ご質問があった一人当たりの面積は、収納部分も含めて約4.4㎡/人、執務室は約2.7～2.8㎡/人となっています。

2階になります。2階は1階同様、執務室となりますが、東側に執行部エリアを集約します。特に北東角に庁議室を設置して、サーバー、防災無線室等を周辺にまとめて集約配置することで災害時の迅速な指令系統を確立する平面計画とします。

4ページをお願いします。3階については議場になります。北側に議場を配置し、南側に議会関連諸室を配置します。エレベーター、階段前には議会事務局を設置することで人の行き来を視認できる配置とします。議場については平土間形式とし、傍聴席は50cm上げた形としています。スロープを設置して障がい者の方でもスムーズにアクセスできるような計画とします。北側に休憩室を設けて職員がリフレッシュできる空間を設けます。

塔屋階平面図、屋上平面図です。議場の上部は吹き抜けにして、ハイサイドライトによる自然光を確保します。また、屋上には太陽光パネルを設置し、自然エネルギーを活用していきます。

5ページをお願いします。立面計画です。建物を横から見た4面の立面図になります。基本的な考え方としては、1階から2階、2階から3階に行くにしたがって南面と東面が段々になっていく形状となります。そうすることで周辺への圧迫感を軽減する計画とします。

南東面は庇と柱、北西面は壁柱と単窓を中心とした立面計画とすることで、セットバックする建物形状を強調するデザインとします。また、地域性に配慮して伝統建築に多く見られる水平ラインを通した意匠とします。

外装材料については、建築の主構造であるコンクリート現しを基本として計画し、その他の部材に関してもメンテナンス性に配慮した耐久性の高い材料を選定します。

次に6ページをお願いします。断面計画です。適正階高を設定して、経済性に配慮した合理的な断面計画とします。また、1階フロア高については、南面道路高さより約1mの所に設定して水害に配慮します。自然光、通風などの自然エネルギーを取り込むことのできる断面計画とします。

続いて環境負荷の低減計画です。建築については、LOW-E複層ガラスや複合サッシ、高断熱仕様等の設定をしています。

電気もLED照明、人感センサー等省エネに配慮した設計です。

機械についても地中熱利用や居住域の床吹き出しによる床輻射冷暖房空調、高効率機器、自動制御等を計画しています。

先ほどコンセプトの設計方針でも説明したZEB Readyについても、現段階での検証をしています。外皮性能BPIは0.61、エネルギー消費性能BEIが0.48で通常の建物より約50%削減されている、エネルギー消費量が半分になっている設計ということが検証をもって確認している状況です。断面については以上です。

7ページをお願いします。バリアフリー計画とサイン計画についてご説明します。

ユニバーサルデザインの考え方に基づいて、車いす利用者やベビーカー、シルバーカー利用者など、すべての人が分かりやすく利用しやすい施設を目指します。

基本的な動線についてはフラットアクセスとして、段差のない計画としています。屋外についても極力フラットにアクセスできる計画としています。また、歩車分離を原則として、歩行者と自動車の交錯は避ける計画としています。具体的な寸法についてもバリアフリー法に適合した寸法としています。

また、多目的トイレについては、一番下に写真を掲載していますが、各階に多目的トイレを設置しています。オストメイト付き多目的トイレ、ベビーキープ、おむつ交換台がセットになった多目的トイレを各階に用意しています。

サイン計画についてご説明します。

来庁者に分かりやすく、快適に施設を利用できる計画とします。右下にサインイメージを掲載していますが、ピクトグラムや大きい文字のサイン等を使って分かりやすいサイン計画とします。また、「高島らしさ」があり愛着をもてるサインとしており、各課表示やカウンター、その他サインの一部に木材等を使って温かみのあるサインを計画していきます。建築の説明としては以上になります。

8ページの構造計画について、かいつまんでご説明します。

建物の構造体はI類、免振と同等の性能を持つ重要度係数1.5を条件で設計しています。また、設計荷重についても積雪は特に豪雪地ですので、垂直の積雪量は2mを見込んだ設計としています。

構造の計画について、基礎は杭基礎、既製コンクリート杭で上部構造は鉄筋コンクリート造になります。

架構計画については、執務室のロングスパン部分にプレストレスト梁を採用しています。また、小梁が出ないアンボンドスラブというのも一部採用しています。

10ページを見ていただくと構造計画を立体的に表現した「アイソメ図」を記載しています。基本的にはコンクリートのラーメン構造になりますが、図の赤く表示した耐震壁というものを一部設けることで、通常の柱のサイズよりひと回り小さい形で視認性とコストに配慮した構造計画としています。

以上、概要についての説明になります。

(委員長)

ありがとうございました。8ページ左下の設計荷重のところの表に単位が入っていないが、N（ニュートン）／㎡でよいのか。

(久米設計)

ご指摘のとおりです。

(委員長)

追記をお願いします。今、久米設計さんから基本設計概要についてご説明いただいたが、委員の皆さんからご質問や分かりにくかったこと、疑問に思ったことでご意見ありましたらいただきたいと思う。

(委員)

8ページの構造関係のことで、執務室の上部のアンボンドスラブで設計してあるが、この効果はどのようなものか。

(久米設計)

1階が町民窓口というところで視認性の高い3.4mの天井高さで計画している。通常であれば梁が出てくるのだが、アンボンドスラブとの組み合わせで梁の無い形とすることで、見ため的にもすっきりすることと階高の削減にも寄与が出来るということで、1階については採用している。

(委員)

そのスラブの下場に直接天井がくるのか。

(久米設計)

はい、そうです。ただし、吊り天井ではない。仕上げを直接貼るという形になる。

空調を床吹き出し空調にしているので、一般的にはエアコンが天井裏にあるのだが防災庁舎ということで、地震の時に空調機やダクトの落下がない、吊り天井の無い計画としてアンボンドスラブを使うことで梁が無くなるので、2階の床吹き出し空調のスペースも確保して、床吹き出し空調を実現しながらトータルで階高を圧縮する、そういった効果を狙って採用している。

(委員)

構造計算はしているが、ラーメン構造とスラブを合わせた異種構造となっているのでお聞きした。分かりました。

(委員長)

他にご意見、ご質問等ないか。どんなことでも結構です。

(委員)

高畠石は使わないのか。

(久米設計)

議場の議長席の後ろに町旗や国旗を貼る自立壁の壁面に使っていこうと考えている。

(委員)

入口近辺とかには無理そうか。

(久米設計)

耐久性の面もあるので、なるべく効果的なところに使いたいのので、議場の一番目立つところに強調するように使っていこうと考えている。

木材利用の件も、耐久性を考慮して外部に使うのは止めようとしている。高畠石も石なので丈夫だと思

うが、やはり経年変化で黒ずみが出てくるようなので、そういうところは別な部材を使って効果的なところに使用したいと考えている。

(委員)

分かりました。

(委員長)

高島石も床に使うと摩耗とかあるが、入口までを巾木で持っていくとおしゃれかなと個人的な意見として、そう思う。

(久米設計)

継続して、エントランス周りもどういった使い方があるか持ち帰って検討する。

(委員)

全体的に拝見して、施工業者さんは大変嬉しいような設計だと思う。垂直水平の線で交わっていて特に曲線もなく、業者にとっては非常に扱いやすい建物だなと思うが、エントランスとか議場とかに少し遊び心があってもいいのかなという感じで拝見した。非常に事務的で縦横の線で構成されているので、私個人としては一部分でも遊び心がどこかに欲しいなど。これは遊びじゃないとお叱りを受けるかもしれないが、それが建築家だと思っている。遊び心がない建物はギューギューでいたたまれなくなり、早く退庁しようと思いたくなる。それが理想かもしれないが、とにかく見た限りでは縦横の線だけで構成されている立方体の固まりの各部屋しか出来ないのだなあと、少しがっかりしたところである。

(事務局)

多分、久米設計さんもここが一番悩ましいところで、これは町からの希望です。色々な建物を作ってきて複雑な形をした建物ほど魅力的なのだがメンテナンスが大変である。特にひろすけ記念館など表には見えないが、丸と直線の接合部は必ず雨漏りがする。そういったことで庁舎はシンプルにお願いした結果です。ただ、これから内装部分などあるので、協議をしながら楽しみを持てるような遊び心のあるデザイン空間を作れば良いと思っている。今後をご指導願いたい。

(委員長)

曲線が入ると維持管理費も掛かってくる。こういったシンプルなものには清掃にしても大変やりやすく、メンテもやりやすいような感じがする。

遊び心という点では、先ほど高島石の話もあったが、遠慮して巾木、ちょっと遊び心を入れたら腰壁、そんな風な表現で、目でパッと感じるようなものも大切なのかなと思う。

(委員)

直線は直線でも議場の天井などは同じ間隔で木材貼られているが、そこに層密をつけて貼り方の間隔を変えることで動きが出てくると思う。均等割りだけが理想ではない。同じ直線を使っても層密の部分で直線的なイメージを与えることはできると思う。そういったところを考えていただきたい。

(久米設計)

今回利用する高島産杉板だが、若干、節が出たりすると伺っていて、イメージパースで出しているのは均一な木材だが、実際は雰囲気のパースと違う柔らかさというのが高島産木材を使うことで出てくると考えている。イメージはかなり直線的なパースにはなっているが、実際に出来るものは多様なという杉板の模様が出てくるような印象にはなると思っている。

(事務局)

遊び心といった意味では、概要には出てこないが、協議の段階で災害の関係から受水槽を設けるが、木製にしようかと思っている。1階の西側別棟に設置するので、それを高島産材で造れないか協議をしているところ。節が多く綺麗な材が取れないので難しいと言われていたが、高島産材で造って、そこから物語を作っていくような遊び心を持ってみたい。環境にもやさしいのでこういったものを入れていきたい。

(委員)

これから先、新しい庁舎を50年使うとして、この前のような地震が来たら補修なく50年使っていけるのか。

(久米設計)

耐震性能については、公共建築で防災庁舎ということで十分な耐震性を確保している。その前提条件で建築基準法の要求される耐震性能が、現庁舎と比較して50年前とは比べものにならないくらい厳しくなっている。更に防災庁舎ということで普通の建物よりも重要度係数と言って耐震安全性を1.5倍でみているので、基準とされる震度6強でも壊れるというようなことはない。

ただし、免震構造と違って揺れ自体は建物内部に発生するので、先ほど話をした吊り天井がなくて空調機が上にない計画やサーバールームには免振装置を入れるなど、そういった耐震については防災庁舎ということで様々な性能確保を盛り込んでいく。庁舎が災害時や緊急時に何かあっては対応できなくなるので、十分に留意して設計を進めていきたい。

(事務局)

100年持たないかと思っている。視察してきた開成町は100年持つと思ってやっていますと言っていた。材料が老けて劣化しなければ100年くらいは持つ。

(久米設計)

鉄筋もコンクリートも品質も30年～50年前と比べて比較にならないくらい進歩している。これから未知の期間であるが、一般的には100年建築ということで我々も提案させていただいている。

(事務局)

コンクリートは50年か。

(久米設計)

性能上、耐用年数でいうとそうだが、実態としてはもう少し持つ。

(委員長)

コンクリートの品質も良くなってきている。

(久米設計)

全般的に品質は良くなっている。基準も厳しくなっているので、その点は安心してもらいたい。

(委員長)

若い頃にクラックの入らないコンクリートを開発したらノーベル賞をやるぞ、などと言われたことがあって、それくらい難しいものである。

(委員)

外装は柱とコンクリート打ち放しの仕上げのようだが、内部の柱はどうか。

(久米設計)

一部打ち放しになる。外に面していない柱については、機能上、ボード張りが必要なところ以外は基本

打ち放しになる。

(委員)

どの辺が打ち放しの状態になるか。

(久米設計)

執務室です。杉板型枠を考えている。

(委員)

コンクリート打ち放しの状態の柱になるというのが、好みにもよるが大丈夫か。

(久米設計)

すべて打ち放しということではなく、バランスだと思う。柱は打ち放しの部分もあるし、一部ボードの部分もある。あと、サインでアクセントをつけていくことも考えている。家具もそうなのだが、全体のバランスで冷たくなりすぎないように考えている。またパース等で説明させていただく機会があればと考えている。

(委員長)

それと照明も大事になってくる。柱型に向けてどういうアクセントをつけるか。打ち放しでも暖色系のスポットを当てると温かみが出る。

(久米設計)

照明も暖色系を使うとそれだけで雰囲気が変わってくる。あとコンクリートの打ち放しも普通の型枠ではなくて、杉板の型枠を使うと木目がコンクリートの表面にプリントされるというか、同じ打ち放しでも少し柔らかい温かみのある表現のコンクリート打ち放しになるので、全体のバランスで冷たくならないように配慮していきたい。

(委員)

具体的なイメージということでサイン計画を見たときに、こんなに明るい庁舎になるのかと思っている。南側がカウンターになっていると背中を向けることになって、向かい合ったときに執務室しか見えないので、こんなに明るい相談ができるのか。川西町をイメージするといいいのかと思っているのだが、米沢みたいな明るい感じをイメージしてよいか。

(久米設計)

ZEB Ready の関係もあって、照明を付けすぎるとエネルギーを多く使ってしまうので、全体としては抑え気味になっている。米沢は750ルクスで今回は500ルクスにしている。少し低減はしているが暗くならない程度の計画にしている。

(委員)

自然光も含めてなのだが、こんな感じで明るく来庁者を迎えるイメージで建物を載せているが、実際はこんなに明るいのか。あの狭さの中に無理やり作っていただいて助かっているのだが。

(久米設計)

南と東の面は立面図にも書いてあるが、上から下までガラスになる。出来る限りそういう努力はしている。外を見ればガラス窓という計画にしているので、ある程度の採光は取れていると思う。

(久米設計)

この写真のイメージをおっしゃっていると思うのだが、これはカウンターの向こう側に窓がある写真の撮り方をしているが、今回の庁舎は南側を背にして建物に入っていくので、こういう写り方にはならない。

ただ、逆のアングルから撮ると町民の方の開放スペースは南側に位置しているので明るくなるし、あとは、2階の吹き抜けのところが表現されていないが、ここがガラスになるので、この絵だと中々伝わりにくいが、見た目以上に自然光が入ってくることは間違いない。あとは先ほどあったように省エネ庁舎で、必然的に外部にガラスを使いすぎると省エネ効果が確保できないので、そのバランスなのだが十分に町民開放スペースは明るく、自然光を取り入れていますのでご理解をいただきたい。

(委員)

あと、こちらに書いてあるエレベーターは、ストレッチャーも対応できるとあるが2台ともか。

(久米設計)

エレベーターは1台で、通常時はストレッチャーは入らないが、奥の扉を開けるとストレッチャーが入るタイプになっている。普段は閉まっていて非常時はストレッチャーを入れられる奥行きが取られている。

(委員)

このエレベーターだと車椅子の方が上下する場合だと、車椅子1台と付き添いが1人しか乗れないのか。普段だと、どれくらいの広さになるのか。ストレッチャーが入るのでもっと広いのかと思った。公民館に付いている広さをイメージするといいいのか。

(久米設計)

11人乗りになります。

(委員)

分かりました、ありがとうございます。この辺では交流プラザしかエレベーターがないので、役場にも付けてもらえるのはどれくらいかなと思った。

(委員)

非常用発電設備について、燃料を軽油にした理由は何か。地下タンク式なので20年経つと毎年検査をしなくてはならない。発電機も日々進化していくと思うので20年後の発電機は良い物が出ていると思う。そうなれば入れ替え等の検討をすると思うが、この方式だと燃料タンクも閉めないといけない。土壤汚染など法律の関係もあり、取り出すだけで数千万掛かると思う。それを考えたときにディーゼルでやるメリットはなにか。

(久米設計)

一般的に防災庁舎の発電機は油燃料を採用している件数が多い。主な理由としてはコストです。イニシャルコストと長期的なランニングコストを考えるとトータルでみたときに油燃料の方が安い。

(委員)

機械の方が安いとかではないのか。

(久米設計)

補足で、建物内部の火災時に消火をするための消火ポンプがあるのだが、消防法上、ガスのディーゼルの認定品がない。そうする場合は別に該当するものを付けなければならない。両方、ガス燃料にしてしまうとコストアップしてしまうので、認定品のある油燃料で計画をした。

(委員)

1年に1回とか試運転をすると思うのだが、災害でもない限り燃料はなくなる。

(事務局)

非常時の非常用発電機は、最初に検討したのは庁舎内のどの範囲をカバーするのか、容量の問題がある。

色々想定すると250KVAは必要だろうとなった。委員がおっしゃられたガス、灯油、軽油、重油を検討した。ガスは容量が大きくても45KVAであり、それを並べて使うことはできるが、大分コストが掛かってしまう。燃料としてガスは劣化しないので良いのではないかと思ったのだが、容量の部分で問題があるとなった。あと、灯油と軽油については燃料の劣化はどの程度なのかという点では、灯油の方が早い。最終的にはランニングコストなども計算して軽油方式がよいのではないかと検討を行った。ガスも使いたいと思ったがZEB化の部分でマイナスになる。そのような検討経過があった。

(委員)

地下タンクはすごくお金が掛かるイメージがある。

(事務局)

タンク容量も他で10,000リットルとかあるが、容量も絞って設置しようと考えている。地下タンクの設置場所は、建物の下ではなく付属棟の近くの屋外になる。

(久米設計)

建物下のピットは、消火水槽と災害時に下水道が破断したときにトイレ等の水を一時的に溜める汚水槽を設ける計画としている。

(委員)

汲み上げる方法は、

(久米設計)

汚水槽は、東日本大震災レベルの地震が来ない限り下水道管は破断しないと思うので、その為に一生使わない可能性があるポンプを入れるわけにはいかない。使った場合はバキュームカーで汲み上げて処理することになる。

(久米設計)

先ほどのエレベーターの人数ですが、15人乗りでした。籠内寸法が1.6m×1.5mでトランクが65cmあるような計画になっている。

(委員)

監視カメラの設置について、1か月録画可能と書いてあるが、1年間とか保存することになるのか。

(久米設計)

ハードディスクに録画するので本体の容量がある。データはCDなどの別媒体に移すことは可能。本体には保存できないが、別媒体に移して上書きしていくような形になる。

(委員長)

7ページにサイン計画という項目があるが、是非、分かりやすく、明るいおしゃれなサイン計画をお願いしたい。他にないか。事務局から補足はないか。

(事務局)

今回、基本設計ということで委員の皆さんから意見をいただき職員で検討してきたが、ようやく形になってきた。このプランで変わらないところがあれば実施設計に入っていくが、若干の変更は完成まで出てくると思うので、その都度、協議・検討して進めていきたい。一区切りとして基本設計をまとめてもらいたい良かったと思う。

(2) その他

(委員長)

その他で何かないか。

(事務局)

事務局からは特にありません。

(委員)

今日が最後で、これで進んでいくわけだが、途中経過はどのようにして情報を得たらよいか。

(事務局)

基本設計は若干手直しをして、4月中にはホームページに掲載したい。実施設計になると大きくプランが変わることはないので、実施設計完了後もホームページで広く町民に公表はするが、その途中でお知らせするようなことがあれば、ホームページや広報で周知していく考えである。

建設が始まれば、その都度、経過報告をしていきたいと考えている。

(委員)

せっかく2年間行ってきた、最終的なゴールが建てた後というのが物足りない。コロナ禍ではあるが懇親の場などを持ちながら、状況報告とか近況等を教えていただける機会を作っていただけたら大変ありがたい。

(事務局)

本来であれば今日が最後なので、そういった場を設けたいのだが、コロナの感染対策もあり自粛を求められているので、時期をみて機会があればご案内したい。その時はご出席くださるようお願いしたい。

(委員長)

是非、よろしくお願いします。

(委員)

開庁前に内覧会などはあるのか。

(事務局)

今年度で任期が切れますが、最初の基本計画から携わっていただいているので、建設途中でもご要望あればご案内もしますし、また新しい何かあればまとめてご案内しますので、よろしくお願いしたい。

(委員長)

他によろしいか。これで議事を終わります。お疲れさまでした。

5. その他

(事務局)

最後の検討委員会になります。この間、皆さまからはご指導、ご鞭撻、ご尽力を賜りました。最後に委員の皆さまに対しまして、企画財政課長よりお礼の言葉を申し上げます。

(企画財政課長)

2年間、大変ありがとうございました。途中、建設場所の変更もありましたが、無事このような形でまとめることができました。これから本番なわけですが、予定に従って進めてまいります。人事異動の内示も出ましたが、この体制に変更はありませんでしたので、このままで実施設計、建設まで行きたいと思っ

ています。今お約束したことは最後まで守りたいと思います。委員からもありましたように機会をみて色々な場面でご参加いただく場面を作りたいと思います。色々な工法がありますよとか、先ほども言った木製の受水槽入りましたとか、関連してご案内しながら懇親等も含めてやっていきたいと思いますので、今後も引き続きよろしく願いいたします。2年間、大変ありがとうございました。

6. 閉会 16時42分